

# SOHOと地域コミュニティの育成

## 自治体発ビジネスに挑戦 三鷹市の事例から



株式会社まちづくり三鷹

シニアマネジャー 関 幸子

## ◆ 地域経営(地域経済振興)の5ステップ

1 課題の把握 = 答えは地域にしかない

2 将来像の明確化 = 夢を形にして見せる

3 手法の公開性・斬新性 = 情報を共用する

4 主体と協働体制の構築 = 応援団の形成・自分ごと

5 具体的事業展開 = ノウハウの地域化

# 日本は大きな変革を求められている。

- 1 人口構造の変化** 大中年時代へ  
高齢化と少子化の同時進行  
体制やしきみ、発想の転換が急務
- 2 市町村合併** 地域の応援団が消える  
規模の論理で改革は進むのか
- 3 三位一体改革の推進** 自治体自らが稼ぐ時代へ  
地方交付税が消える
- 4 公益サービスの多元化** だれもが毎日まちづくり  
NPOや非営利法人の出現と増加  
公益法人制度の改革
- 5 安全神話の崩壊** 地域コミュニティの再生  
防災だけでなく防犯
- 6 グローバル化は足元まで** 地域と地域、個人と個人  
世界の中での日本の位置 対アメリカ 対中国  
外交戦略なくして経済発展はのぞめない

# 戦略1 計画の策定・将来像の明確化

住宅都市



情報都市化へ

三鷹市の要因

工場集積の減少



商業の空洞化



高齢化・少子化



税収入の減少



産業振興計画 H8  
既存産業の再構築  
駅前再開発基本計画H8  
地域情報化計画H10  
IT化の推進  
中心市街地活性化計画H10  
中心市街地の活性化

外部要因

- ・ 新たなライフスタイルの模索
- ・ IT産業などインターネットの隆盛
- ・ 企業のアウトソーシング化



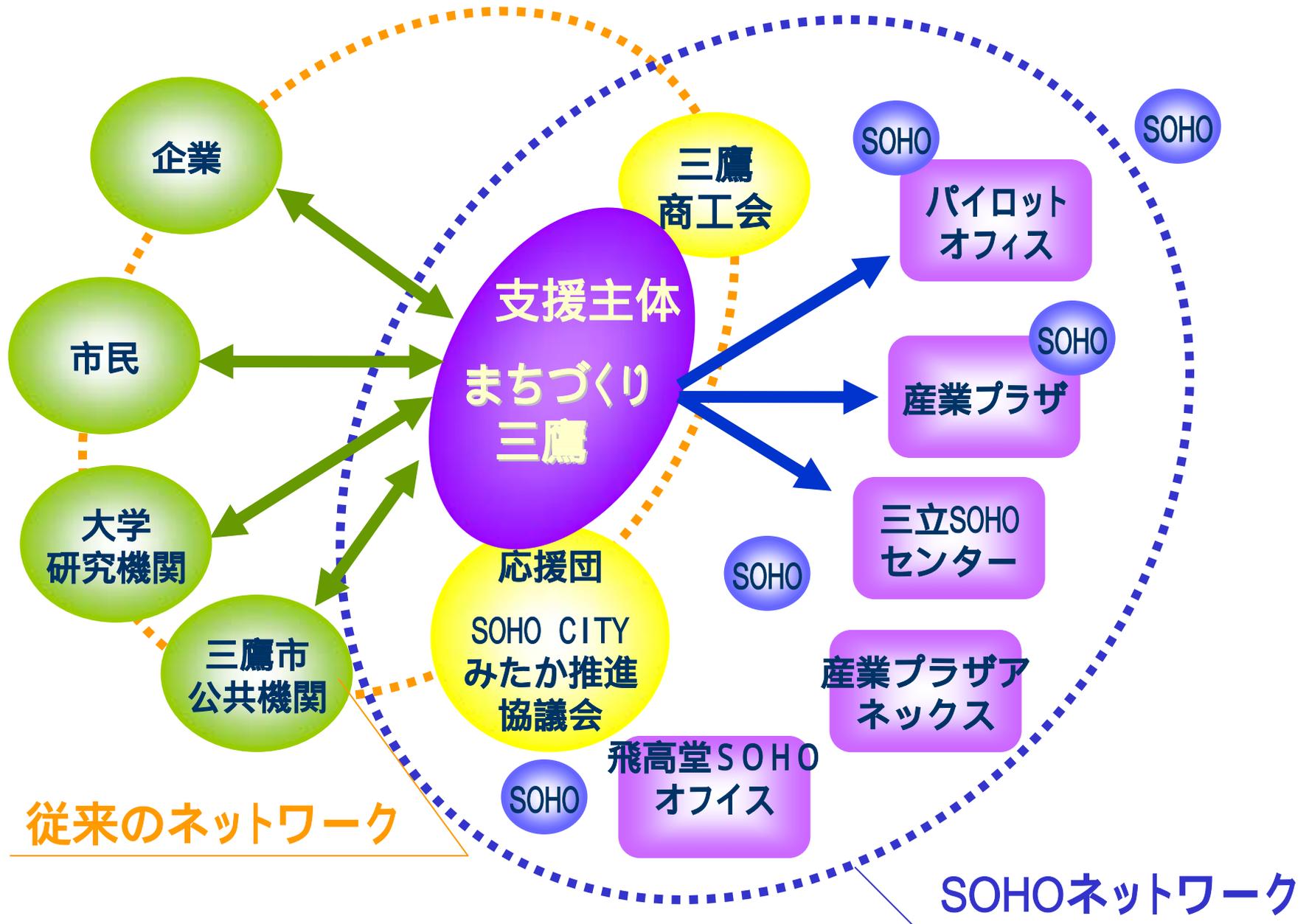
SOHO CITY  
みたか

都市型新産業の創造  
地域密着型ビジネス展開

地域内での雇用先確保  
職住近接型への短観

税構造の変革  
法人市民税の増収へ

# 人的ネットワークの形成・応援団の設立



# SOHO CITYみたか構想の戦略イメージ

